

2013/3/16

向羽黒山城と戦国の世

山形県立米沢女子短期大学日本史学科

吉田 歆

はじめに

- ・向羽黒山城（岩崎城）を作ったのは誰？→蘆名盛氏（止止斎）
＝蘆名氏の最盛期
- ・蘆名氏って？
鎌倉幕府の有力御家人三浦氏の子孫
→鎌倉時代後半ころに会津に乗り込んでくる！
→室町時代～戦国大名に成長…南奥（陸奥国南半）の大親分

第1章 戦国大名はつらいよ～

- （1）蘆名氏と会津の位置
 - ①会津は南奥のヘソ…だけど四面楚歌
※米沢の伊達氏、二本松の畠山氏、須賀川の二階堂氏、三春の田村氏、
白河の白川氏、
※さらに越後の上杉氏、常陸の佐竹氏
 - ②会津の中にも敵がっ！
大沼郡の山内氏と南山の長沼氏
※1543年、蘆名盛氏vs山内氏→盛氏の勝利
- （2）つらい時には
 - ・伊達氏を中心とした安全保障体制
→娘は政治の道具なの（涙…）

第2章 向羽黒山城と盛氏

- （1）盛氏の隠居城
資料①『新編会津風土記』巻72
向羽黒山城趾

昔、頂上に羽黒権現の祠ありて、湯本村の羽黒山と相向へるをもて、向羽黒山と名く、また今羽黒とも云しとぞ、(中略)、筆名修理大夫盛氏、その子盛興に家を譲り、永禄四年、経営の事を始め、数年の後、城築の功成て、此に隠居し、止止斎と号せしとぞ、天正三年六月、盛興、早世しければ、盛氏、再び黒川に帰住し、此の城、廃せり、

- ①向羽黒山城＝盛氏の隠居城…黒川城の息子盛興に家督を譲って隠居
- ②天正3年（1575）、盛興が急死→盛氏、黒川城に帰る＝向羽黒山城は廃城？
- （2）ところが盛氏は元気いっぱい！！
①盛氏の隠居…永禄6年（1563）4月～7年6月の間っ？！！（小林清治⑤所収）
②天正6年（1578）に向羽黒山にいた？（市村高男③所収）
- （3）しかも、やる気満々？
天文12年（1543） 大沼郡の山内氏に勝利
同 19年（1550）～20年 安積郡を支配下に
永禄 2年（1559） 二本松の畠山氏を屈服
同 3年（1560） 佐竹氏と戦う
同 9年（1566） 須賀川の二階堂氏を屈服→二階堂氏の息子盛隆を人質にとる
★中通りに進出→常陸の佐竹氏との激突！！！！

◎向羽黒山城…永禄4年(1561)築城開始

- まだ隠居していないもん（後に隠居）
- 中通り攻略と、その先に強敵佐竹氏が迫る！

第3章 向羽黒山城にズームイン

- 資料②「巖館銘」覚成
根小屋、宿町二千余家…向羽黒山城をたたえる漢詩文

- （1）遺跡
 - ①三日町、六日町、十日町
 - ②曲輪群
 - ③石垣（石壁）
 - ④虎口
 - ⑤伝盛氏屋敷
 - ⑥御茶屋場曲輪
 - ⑦家臣団屋敷跡
 - ⑧発掘調査で礎石も…二曲輪地区
- （2）遺構をどう見るか
 - ①盛氏以前はどうだったの？
ア 頂上に羽黒権現の祠があった

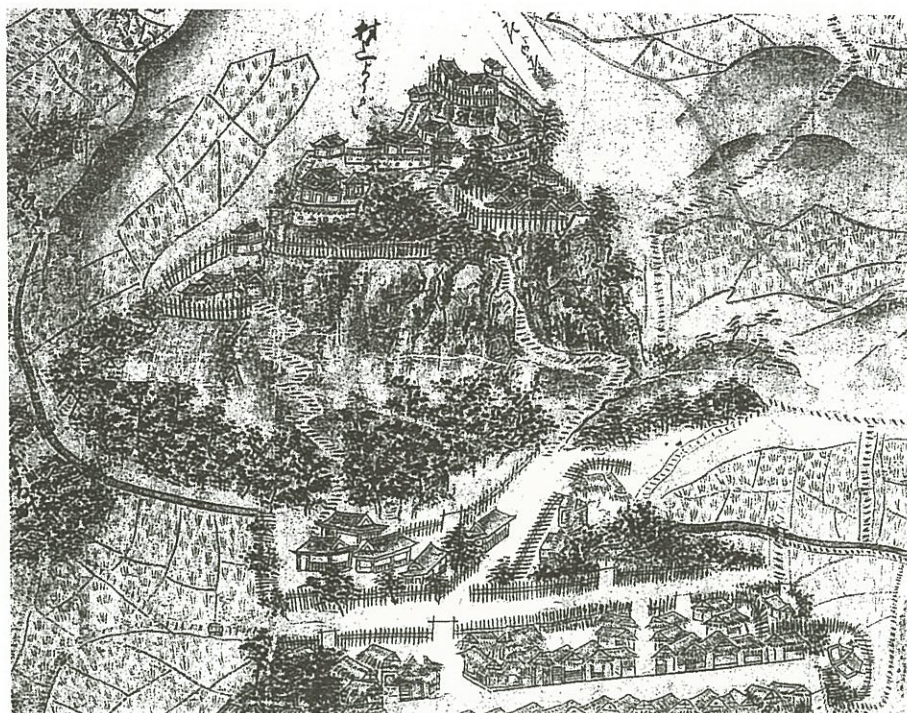


図4 村上ようがい（文献⑩）

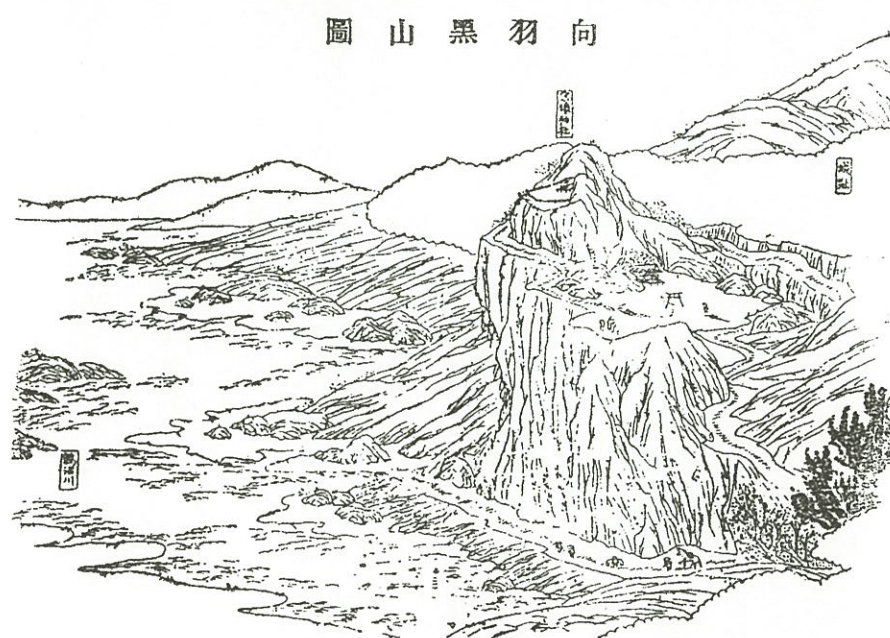


図5 向羽黒山図
（新編会津風土記）

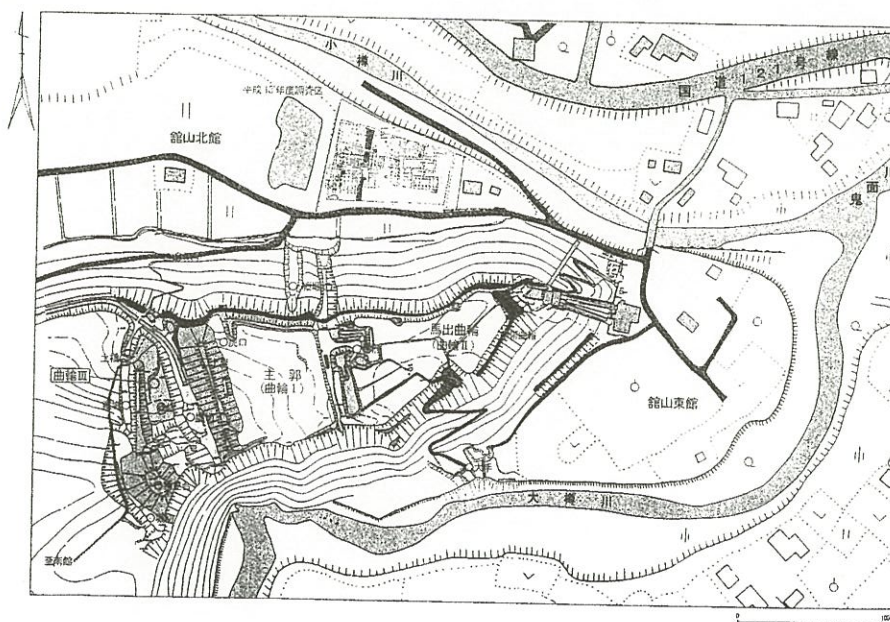


図6 米沢市館山城
（文献⑩）



図3 向羽黒山城跡地形図

図7 向羽黒山城跡（文献⑨）

湯殿月山羽黒三山一枚繪圖

板本羽黒山麓



本町中之山原
錦江齋春洲画
高橋良助

図8 出羽三山
(伊藤武『出
羽三山』1996年)